

第6学年国語科 学習指導案

平成26年10月3日(金) 3校時

6年2組(男子11名 女子11名 計22名) 本時 5/10

授業者 T1 渡邊 智穂

T2 松岡 舞

1 単元名 人物の生き方を考えながら読もう

～読んでみて!『人物の生き方新聞』で伝えよう～

教材名 「海のいのち」(東京書籍6年下)

2 単元の目標

- 人間の生き方が描かれている物語に興味をもち、物語が自分に最も強く語りかけてきたことを考えながら読もうとすることができる。(関心・意欲・態度)
- 場面構成や登場人物の相互関係を手がかりに、中心人物の変化を読み取り、物語が自分に最も強く語りかけてきたことをまとめることができる。(C 読むこと エ)
- 『学習新聞』で伝えるために、人間の生き方についての本を複数選び、比べて読みながら推薦文を書いている。(C 読むこと カ)
- 比喩や反復などの表現の工夫に気づき物語を読んでいる。

(言 イ (ケ))

3 単元について

(1) 単元観

①本単元で取り上げる主な指導事項

小学校学習指導要領・国語の第5学年及び第6学年「C 読むこと」の指導事項「エ 登場人物の相互関係や心情、場面についての描写をとらえ優れた叙述について自分の考えをまとめること。」「カ 目的に応じて、複数の本や文章などを選んで比べて読むこと。」を取り上げて指導する。

②単元を貫く言語活動とその特徴

「C 読むこと」の言語活動例「エ 本を読んで推薦の文章をかくこと」を具体化した、「他の物語の内容を読み、『人物の生き方新聞』で伝える」という言語活動を位置付ける。

ここで取り上げる『人物の生き方新聞』とは、人物の生き方についての様々な本を読み比べ、物語が自分に最も強く語りかけてきたことを理由も挙げながら構成を考え、自分の言葉で新聞にまとめるというものである。並行読書を行うことで、児童は、自分が興味を持った人間の生き方について書かれた本を読んでいく。その際、人物の関係や中心人物の変化を手がかりに内容をとらえ、人物の生き方について自分の考えたことをまとめていくことで「エ 本を読んで推薦の文章をかくこと。」(C 読むこと エ)を確実に実現できるようにしている。また、『人物の生き方新聞を作成すること』に向け、場面構成や人物の関係を手がかりに、中心人物の変容を読み、物語が最も強く語りかけてきたことをまとめることは、「エ 登場人物の相互関係や心情、場面についての描写をとらえ、優れた叙述について自分の考えをまとめること」につながる。またそれを学習新聞にまとめるために本の特徴をとらえて推薦することで「カ 目的に応じて、複数の本や文章などを選んで比べて読むこと。」についても実現できるようにしている。

本教材は、登場人物の相互関係や心情、場面についての描写が、優れた叙述で表現されており、物語の場面構成や人物の関係を手がかりに中心人物の変化を読み取ることができる教材である。人物の関係をつかむことは中心人物の思いを読んでいく上で重要なことである。人物関係図も有効に使いながら、児童が人物の言動にこめられた意味や人物の心情を読み解き、主題(自分が作品から受け取ったもの)にせまることができるようにしたい。

(2) 児童観

児童は、4月の物語文「風切るつばさ」の中では、「語り」について学習した。自分の読んだ情景や心情、物語を読んで感じたことや考えたことを相手に伝えるために部分暗誦し、身体表現も交えて表現する学習活動である。5月の物語文「ばらの谷」では、各場面の出来事をまとめ、それをもとに物語を「設定」「展開」「山場」「結末」の4つの部分に分け、内容を整理して物語の構成や中心人物の変容を手がかりに、物語が強く語りかけてきたことを短くまとめる(200字以内)学習を行った。また、年度当初より「見つめる目」と題して新聞記事の切り抜きを家庭学習で継続して行ってきた。児童は記事を読むこと、それについての考えや思いを書くことを継続することによって新聞に慣れ親しんでいる。そこで今回は国語科の学習とNIEを絡めて「まとめる手段」として新聞を学習に取り入れる。大見出しは究極の要約なので、物語が一番強く語りかけてきたことを中心に、構成も考えながら読みの視点を明確にし、まとめていくことができるようにしたい。

今年度4月の全国学力調査の結果を見ると、関心・意欲・態度においては全国を上回っているが、情景描写をとらえること、文章の要旨や構成をとらえることに課題がみられた。児童の実態はどの学習課題に対しても、真面目に取り組むことができるが、読む力に個人差がある。さらに自分の考えに自信を持たず、交流の際、積極的に伝えることや自分の意見を持って聞くことができない児童もいる。三次の交流に向けて、自分が読んだ本を推薦するために考えを練り上げていく段階で、友だちとの対話を効果的に取り入れることも意図して取り組んでいきたい。

(3) 指導観

第一次では、教師が作成した「人物の生き方新聞」の『かさこじぞう』の見本を紹介する。そして、この単元では、本を読んで“人物の生き方をテーマに学習新聞にまとめ交流するために、物語が自分に最も強く語りかけてきたことを登場人物の相互関係に着目して考える。”という学習のめあてをもつ。

第二次では、太一の生き方に影響を与えたのはだれか考えることで、中心人物である太一と他の登場人物との関係をとらえていくことに気づかせ、物語の6つの場面を「設定」「展開」「山場」「結末」の4つの部分に分けて全体の構成を確認させる。そして、中心人物である太一と他の登場人物との関係をそれぞれの場面の叙述をもとにつかませていく。特に、父や与吉じいさの「海」に対する考え方が分かる会話文や行動を表す表現について考えることで、中心人物太一はどこで大きく変わってきたのか、太一の気持ちの変化の読みにつなげたい。そして、父を破ったと考えられる瀬の主と対峙する「山場」場面で、前時までの学習や表現をもとに、なぜ太一は瀬の主にもりを打たなかったのか、太一の心情が変わったとみられる叙述部分を考える。ここで3つの視点(①誰とのかかわりで変わったのか、②どのように変わったのか、③なぜ変わったのか)を定め焦点化させることで叙述について吟味し、考えをまとめることができるようにさせたい。また、中心人物の変容についての意見を聴き合う中で、この物語が自分に最も強く語りかけてきたことに迫らせたい。第二次の毎時間の後半には並行読書をしてきた中で自分の選んだ本を使い、その時間の学習を活用させて新聞の構成メモを書いていく。学んだことを新聞の構成メモに生かしていくことで三次の活動につなげることができるようにする。

第三次では、第二次での学習をもとに並行読書をしてきた本の中から本を選び、登場人物の生き方を推薦の理由に入れながら、自分の考えと関連させて学習新聞にまとめ表現させる。登場人物の関係を図に表していくが、これは新聞にまとめていく時の手がかりとなるものである。これまで並行読書してきた本の中からなぜこの本なのかをはっきりさせるために、物語が最も強く語りかけてきたことを推薦の理由を挙げながら短くまとめ新聞を作成していく。また、交流の進め方として今回、推薦することを中心に交流を行う。推薦するためには、それについての理由が必要不可欠である。自分の考えとまったく違うから推薦したいのか、それとも自分の考えと同じ(共感できた)だから推薦したいのか等、「紹介」との違いを意識させながら意欲的に、自分の読みを活用し表現する力にもつなげていきたい。

(4) 研究テーマとの関連

主体的に児童が学ぶためには、児童自身が単元を通して学ぶ目的をもち、見通しをもって言語活動を展開していく必要がある。そこで、導入では、教師が書いた『人物の生き方新聞』の見本を見せ、単元のゴールイメージを具体的に示す。単元全体の学習の見通しを持たせることで目的意識をもたせ、学習に取り組ませたい。児童は、並行読書で人物の会話や行動に着目して人物どうしの関係を考えながら読み、『人物の生き方新聞』でおすすめの本を推薦し合い交流するために主体的に学習を進めていくと考えられる。

4 単元の評価規準

国語への 関心・意欲・態度	・人物の生き方についての物語に興味をもち、物語が自分に最も強く語りかけてきたことを考えながら読もうとしている。
読む能力	・『人物の生き方新聞』で自分のおすすめの本を推薦するために、場面構成や登場人物の相互関係を手がかりに、中心人物の変容を読み取り、物語が自分に最も強く語りかけてきたことをまとめている。(エ) ・『人物の生き方新聞』を作成し、交流に向けて、人間の生き方についての本を複数選び、比べて読んでいる。(カ)
言語についての 知識・理解・技能	・比喩や反復などの表現の工夫に気づくこと。 イ(ケ)

〈言語活動のモデル〉 「人物の生き方新聞」

人物関係図

- ・後の物語が最も強く語りかけてきたを書くときに手がかりとなるもの
- ・人物どうしのかかわりが見えるもの

読みの視点3つ

- ・誰とのかかわりで変わったのか
- ・どのように変わったのか
- ・どうして変わったのか

物語の中心人物と大まかなあらすじを書く。

新聞の題は「～の生き方新聞」



物語が最も自分に強く語りかけてきたこと

- ・自分の考え
- ・推薦文(なぜこの本がおすすめなのか)

5 専科として

2学期に入り、9月から高学年を中心に授業に入っている。昨年度は6年生の説明文教材「未来へ生かす自然のエネルギー」で「単元を貫く言語活動」の研究を行ったが、今年度は物語教材「海のいのち」で研究を深めたいと考えた。一学期は水戸部調査官の提唱する「A・B1セット方式」に取り組んだが、今回は従来の「入れ子方式」を基本としながらも、並行読書の中に「A・B1セット方式」を取り入れることにした。

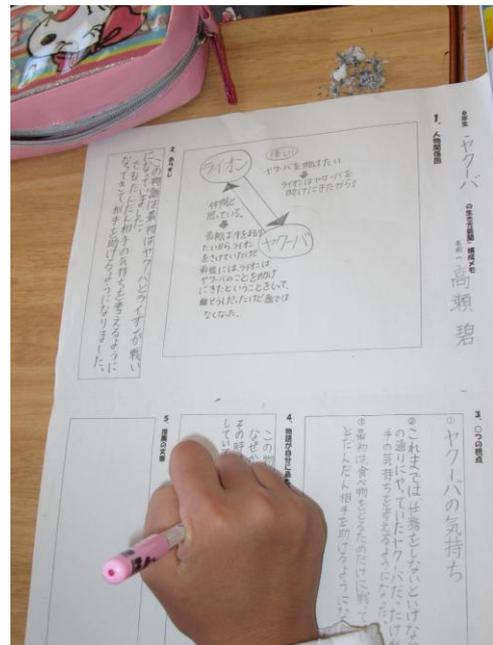
学習に入る2週間ほど前から並行読書に取り組ませてきた。それは「人物の生き方新聞」で推薦の文章を書くためにより多くの本と出合わせ、比べながら読ませるということを行っていたからである。今回入れ子方式の後半部分を工夫し、その時間身に付けた力を、選んだ本で活用させるということを行っていく。そうすることで、第三次へ向けて少しずつ新聞の構成メモができてくるということになる。

さらに、今回「海のいのち」に取り組むにあたって、家庭学習との連動も意図的に仕組んで準備していくようにした。初めて取り組む作品であっても、6年生には既習事項を用いて自分なりに「読む」ということができることを要求したい。つまり、「海のいのち」に出会った時も受動的な読みではなく、読みに対する積極性が必要であると考えた。また自分の意見を持った上で友だちと交流することで構成メモを深めたり広げたりすることができるようにしたい。そこで「自力読み」の準備段階として下学年の教材を使用し、既習事項を用いて物語の読み方を確認することをねらいとした家庭学習に取り組ませている。

4月から継続して取り組んできた「見つめる目」について、それぞれの児童が取り組む意義と自信を持ちながら意欲的に取り組んできている。学期が始まってすぐに一学期末に友だちが書いた文章を読み合い、新たな課題を示して2学期の「見つめる目」の取り組みを進めてきた。

新たな課題とは、自分の選んだ記事を丸ごと読んだ後に特に興味関心を引かれた部分に線を引き、それについて詳しく記述するというものである。さらに、夏休みに書いてきた3つの「見つめる目」の中から1つ選んでそれを友だちと読み合い、学年交流も行った。児童は、友だちの作品を読むことで内容に共感したり、意見の書き方について良さを学び合ったりして継続して「見つめる目」に取り組むことができている。これまでクラス交流や学年交流で使用したノートのパージにはインデックスをつけ、いつでもすぐを開くことができるようにする、友だちからもらった感想の付箋をそのまま貼りつけ記録に残すなど、自分のノートに値打ちをつけ意識して残させるようにしてきた。また、一冊目修了のノートを多目的ホールへ置いて誰もが手にとって学習の参考とできるよう「ノートマスターのコーナー」を作り、5年生には「資料を読んで考えたことを書こう」の単元でノートの紹介をした。

今学期も学級担任と連携しながら、個人の学びの上に学級の学びを積み重ねることで、高まりあっていくことを専科として追及したい。

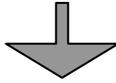


6 単元構想図

単元を貫く言語活動

人物の生き方が描かれている物語を読み深め、物語が自分に最も強く語りかけてきたことを自分の言葉で表現し『人物の生き方新聞』を書き、交流する。

◇学習の流れ



第一次

並行読書

- 物語を読んで、学習の見通しをもつ。
- ・単元のねらいを確かめる。
- ・「人物の生き方」について書かれた本を準備し並行読書をさせておく。

第二次

- 物語の構成をとらえる。
- ・既習を使って、物語を4つの部分に分ける。
- 物語の流れをおさえ、中心人物の変化を読み取り、強く心に残ったことをまとめる。
- ・部分ごとに人物の関係を整理し、図にまとめる。
- ・中心人物の心情の変容や理由を読む。
- ・物語が最も強く語りかけてきたことを考え、自分の言葉で文章にまとめる。

第三次

- これまでのメモをもとに、自分の選んだ本で最も強く心に残ったことを『人物の生き方新聞』にまとめる。
- 新聞をクラスの友だちに推薦しながら交流する。

単元で付けたい力

- ・登場人物の相互関係や心情、場面についての描写をとらえ、優れた叙述について自分の考えをまとめる力

◇意識の流れ

【児童の実態】

心情の変化をとらえたり、自分の考えを自分の言葉で表現したりすることが苦手な児童がいる。

- ・なぜ太一は瀬の主を殺さなかったのだろうか。
- ・物語が自分に最も強く語りかけてきたことを考えることがねらいなんだ。
- ・いろいろ読んできたけどあの本に決めようかな。

- ・瀬の主との出会いの場面が山場だな。
- ・太一の父の生き方と太一の父への思いは何だろう。
- ・与吉じいさの生き方から太一が学んだことは何だろう。
- ・なぜ太一は考えが変わったのだろう。
- ・この物語が自分に最も強く語りかけてきたことはこんなことだったなあ。

- ・新聞の挿絵に人物関係図を書くと、物語が自分に最も強く語りかけてきたことが考えやすいな。
- ・推薦の言葉を入れて書くようにしよう。

7 指導計画及び評価計画（全10時間）

	時	学習活動	主な評価規準
第一次	1	<p>これからの学習のめあてを知ろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> 全文を通読して物語の内容を大まかにつかむとともに、学習の見通しをもつ。 物語が最も自分に強く語りかけてきたことを「人物の生き方新聞」にまとめて交流するという学習のめあてをもつ。 学習の流れを知る。 物語の4要素を確認する。 	<p>【関】「人物の生き方新聞」にまとめるために、物語が最も強く語りかけてきたことを会話文や行動に着目して考えようとしている。</p> <p>（発言・ワークシート）</p>
	2	<p>物語の構成を確かめ、中心人物、太一について考えよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> 4つの構成を確認し、中心人物太一について交流する。 時で場面が変わることを確認し、太一に影響を与えた人物について考える。 	<p>【読】大まかな内容をつかんでいる。</p> <p>（発言、教材文、ノート）</p>
第二次	3	<p>「生き方新聞」にまとめるために父の生き方と、太一の父への思いを考えよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「海」に対する思いをもとに、太一を中心に人物関係図に表わす。 「人物の生き方新聞」の構成メモを書く。 	<p>【読】太一の父への思いと太一の父の生き方を人物の相互関係からとらえ、心情を入れて図にまとめている。</p> <p>（発言・話し合い・人物関係図）</p>
	4	<p>「生き方新聞」にまとめるために与吉じいさの生き方と、太一の成長の関係について考えよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「海」に対する思いをもとに、太一を中心に人物関係図に表わす。 「人物の生き方新聞」の構成メモを書く。 	<p>【読】与吉じいさの生き方や海に対する考え方、太一の成長を叙述からとらえ、人物関係図にまとめている。</p> <p>（発言・話し合い・ワークシート）</p>
	5	<p>「生き方新聞」にまとめるために中心人物の変化を意識し、読みの視点を持って読もう。</p>	<p>【読】山場場面について、3つの視点を通して太一の変容をとらえている。</p> <p>（発言・ワークシート、構成メモ）</p>
	6	<ul style="list-style-type: none"> クライマックス場面についての3つの読みの視点について知る。 「人物の生き方新聞」の構成メモを書く。 	<p>【読】瀬の主に出会ってからの太一の心情をつかみ、太一の変化を読み、自分の言葉でまとめている。</p> <p>（発言・話し合い・ワークシート）</p>
	7	<p>「人物の生き方新聞」にまとめるために物語が最も強く語りかけてきたことについて考えよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「海のいのち」が自分に最も強く語りかけてきたことについてまとめ、友だちと交流する。 推薦するための表現の仕方を知る。 「人物の生き方新聞」の構成メモを書く。 	<p>【読】物語を推薦するために、登場人物の行動や会話などについての優れた叙述に着目し、内面に描かれた心情を想像して読んでいる。</p> <p>（発言・ワークシート・構成メモ）</p>

8 9	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>心に響いたことを交流するために構成メモをもとに「人物の生き方新聞」を書こう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・これまで作成してきた構成メモをもとに、「人物の生き方新聞」を書く。 ・推薦の文章を意識しながら物語が自分に最も強く語りかけてきたことを人物関係図を参考にして書く。 	<p>【言】物語が最も強く語りかけてきたことを、理由を挙げながら推薦文に表現し、文や文章にはいろいろな構成があることについて理解している。</p> <p style="text-align: right;">（「人物の生き方新聞」）</p>
10	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>「人物の生き方新聞」で心に響いた物語を推薦し、交流しよう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・自分が作成した「人物の生き方新聞」をクラスの友だちに推薦し、交流する。 ・交流の際、推薦の言葉をつけて交流する。 	



8 本時の学習（1／10）

目標 「人物の生き方新聞」にまとめるために物語が自分に最も強く語りかけてきたことを読んでいくという学習のめあてをもち、物語の4要素について確かめながら読んでいく。

（1）展開

主な学習活動と内容	指導上の留意点（○） 評価（☆）支援（※）
<p>1 本時の課題をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> これからの学習のめあてを知り、物語の構成を確かめよう。 </div>	<p>○これまでの家庭学習を振り返り、本教材に向けて意欲を持たせる。</p>
<p>2 課題を解決する。</p> <p>（1）教師のモデル「人物の生き方新聞」を見る。</p> <p>（2）新聞の内容について感想を出し合う。</p> <p>（3）学習の流れを知る。</p> <p>3 物語を大まかにつかむ</p> <p>（1）物語の4要素について確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペア ・全体 <p>4 並行読書をし、おすすめの本を決定する。</p>	<p>○これまで学習してきたことと絡ませながら、実物と、拡大した新聞を提示し読んだ後、推薦する。</p> <p>○内容や書き方について自由に出させる。</p> <p>○新聞にまとめるために、人物の生き方を考えながら会話文や行動を中心に読んでいくという単元のめあてを明確にし、目的をもった読みを意識させる。</p> <p>○物語全体の時、場所、登場人物、出来事について大まかにつかませる。</p> <p>※出来事については家庭学習を参考に自分の意見をもって話ができるよう話型を示す。</p> <p>☆「人物の生き方新聞」にまとめるために、物語が自分に最も強く語りかけてきたことを会話文や行動に着目して考えようとしている。 （発言・話し合い・ワークシート）</p>
<p>5 次時の学習について知る。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>家庭学習</p> <p>物語を4つの構成に分けてくる。物語を丸ごと読んで考えたこと、感じたことをノートに書いてくる。</p> </div>	<p>○次時は物語の構成と中心人物について学習することを伝える。</p>

8 本時の学習（2／10）

(1) 目標 物語の構成から大まかな内容をとらえ、中心人物太一の人柄や太一に影響を与えた人物について考えることができる。

(2) 展開

主な学習活動と内容	指導上の留意点 (○) 評価 (☆) 支援 (※)
<p>1 本時の課題をつかむ。</p>	<p>○前時の感想を読み、本時への意欲を持たせて単元の言語活動を確認する。</p>
<p>物語の構成を確かめ、中心人物太一に影響を与えた人物について考えよう。</p>	
<p>2 課題を解決する。</p> <p>(1) 物語の六つの場面を確認する。</p> <p>(2) 物語全体の構成を確認する</p> <p>(3) 物語全体から太一について分かること(人柄も含む)について交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人学び ・全体 <p>3 太一の生き方に影響を与えた人物について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペア 	<p>○物語全体は時を中心に展開されていくことを確認し、6つの場面それぞれを○で囲ませる。</p> <p>○家庭学習をもとに「設定」「展開」「山場」「結末」を全体で確認する。</p> <p>○行動や会話を根拠として太一の人柄について交流することができるよう線を引かせる。 ※線を引くところに迷っている児童には、太一の会話文に着目させ、そこからどんな人柄が考えられるか個別に尋ねて意見をまとめることができるようにする。</p> <p>○まずは自分で考えさせ、そのあとで友達と交流させる。</p> <p>☆物語の構成を確かめ、太一に影響を与えた人物について考えている。 (発言・話し合い・教材文)</p>
<p>4 次時の学習について知る。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>家庭学習 父と太一が関係している場面を選んで読み、会話文と行動を表す言葉に線を引き、そこから分かる太一の父への思いを書きこんでくる。</p> </div>	<p>○登場人物の関係を人物関係図にまとめることを予告する。</p>

8 本時の学習（3／10）

(1) 目標 父の人物像や生き方と太一の父への思いを、太一と父の相互関係図に表しながら想像豊かに読むことができる。

(2) 展開

主な学習活動と内容	指導上の留意点 (○) 評価 (☆) 支援 (※)
<p>1 本時の課題をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> 父の人物像や生き方と、太一の父への思いをとらえ、人物関係図に表そう。 </div>	<p>○単元のゴールイメージを共有する。</p>
<p>2 課題を解決する。</p> <p>(1) 父と太一が関係している場面を確認する。</p> <p>(2) 父の人物像を確認し、人物関係図の書き方を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分で人物関係図に書き込む ・ペア ・全体 <p>3 おすすめの本の登場人物の相互関係を構成メモの人物関係図に書き込む。</p>	<p>○設定場面だけでなく、山場場面にも父という言葉が出てきていることにも着目させる。</p> <p>○叙述から人物像を想像し、太一と父の相互関係をとらえていくことができるようにする。</p> <p>○ペア対話では、父と太一の相互関係を友だちに伝え、それらに基づいて自分が想像した太一の父への思いを話すことができるようにする。</p> <p>※太一から父へ矢印を出すことでどう思っているのかたずね、さらになぜそう思ったのか尋ねることで、人物関係図に記入することができるよう支援する。</p> <p>☆太一の父の生き方と太一の父への思いを人物の相互関係からとらえ、心情を入れて人物関係図にまとめている。</p> <p>○本時の学習を活用することができるよう、意欲を持たせる。</p>
<p>4 次時の学習について知る。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>家庭学習</p> <p>与吉じいさの生き方と太一が関係している場面を選んで読み、そこから分かる太一の与吉じいさへの思いを書きこんでくる。</p> </div>	<p>○与吉じいさの生き方と太一の成長についての関係を人物関係図にまとめることを予告する。</p>

8 本時の学習（4／10）

(1) 目標 与吉じいさの生き方や海に対する考え方と太一の成長の関係を叙述からとらえ、人物関係図にまとめている。

(2) 展開

主な学習活動と内容	指導上の留意点 (○) 評価 (☆) 支援 (※)
<p>1 本時の課題をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">与吉じいさの生き方と太一の成長の関係を人物関係図に表そう。</div>	<p>○人物の言動、特に会話文を意識させながら、「展開」の前半部分（…与吉じいさも海にかえっていったのだ）まで）を音読させる。</p>
<p>2 課題を解決する。</p> <p>(1) 与吉じいさの「海」に対する考え方をとらえる。</p> <p>(2) 太一と与吉じいさの相互関係で分かったことを考えながら人物関係図にまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分で人物関係図に書き込む ・ペア ・全体 <p>3 おすすめの本の登場人物の相互関係を構成メモの人物関係図に書き込む。</p>	<p>○会話文と行動を表す表現に着目させて、与吉じいさの「海」に対する思いを考えさせる。</p> <p>○会話文と行動を表す表現に着目させて、太一の与吉じいさに対する思いを考えさせる。</p> <p>○表現に着目させ、与吉じいさと太一の「海」に対する思いや太一の成長から考えさせる。</p> <p>※太一と与吉じいさの相互関係が分かるように、それぞれの会話に着目させて分かったことをまとめさせる。</p> <p>☆与吉じいさの生き方や海に対する考え方や太一の成長をとらえ、心情を入れて人物関係図にまとめている。 (発言・話し合い・ワークシート)</p>
<p>4 次時の学習について知る。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>家庭学習 山場場面を読み、心に残った太一の会話文と行動を表す言葉に線を引き、感じたことをノートに書いてくる。</p> </div>	<p>○次時は、中心人物の変化について読んでいくことを知らせる。</p>

8 本時の学習（5／10）

(1) 目標 「中心人物の変化」について行動や会話をもとに考え、視点を持って読むことができる。

(2) 展開

主な学習活動と内容	指導上の留意点 (○) 評価 (☆) 支援 (※)
<p>1 本時の課題をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> 行動や会話をもとに太一の変化について視点を持って読もう。 </div>	<p>○単元のゴールイメージを共有し、本時へ向けて目的意識を持たせる。</p>
<p>2 課題を解決する。</p> <p>(1) 視点について知る。 ・ 3つの視点</p> <p>(2) 太一が大きく変わるあたりか考える。</p> <p>(3) 太一がどのように変わったのか考える。 ・ 一人学び ・ ペア ・ 全体</p> <p>3 おすすめの本を讀みの視点をもとにまとめる。</p>	<p>○讀みの視点を3つ示し、視点にそって読んでいくことを確認させる。</p> <p>○太一が大きく変わるあたりに線を引かせる。</p> <p>○これまでは…だったけれど、という書き出しで自分の考えを書かせる。山場場面から物語全体へ広げる讀みを意識させる。</p> <p>☆登場人物の相互関係に着目しながら会話や行動を根拠として読んでいる。 (発言、行動観察、ノート)</p> <p>※意見をまとめることに困っている児童には、太一がクエに対してどんな思いをもっていたかたずね、気もちは同じか違うかを聞くことでまとめる際に参考にできるようにする。</p> <p>○本時に学習した2つの視点(①誰との関わりで変わっていったのか、②どのように変わったのか)についてまとめさせる。</p>
<p>4 次時の学習について知る。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>家庭学習 ②をもとに、太一はなぜ瀬の主にもりをうたなかったのか考えてノートに書いてくる。</p> </div>	<p>○「人物の生き方新聞」にまとめるために、3つ目の視点で読んでいくことを伝える。</p>

8 本時の学習（6／10）

(1) 目標 瀬の主に出会ってからの太一の変化をつかみ、変化の理由について人物の相互関係を関連付けながらまとめることができる。

(2) 展開

主な学習活動と内容	指導上の留意点 (○) 評価 (☆) 支援 (※)
1 本時の課題をつかむ。	○単元のゴールイメージを共有し、本時へ向けて目的意識を持たせる。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 生き方新聞にまとめるために、太一の気持ちが変わったのはなぜか、視点を持って読もう。 </div>	
2 課題を解決する。 (1) 視点について確認する。 ・ 3つの視点 (2) 太一の気持ちが変わったのはなぜか考える。 ・ ペア ・ 全体 ・ 一人学び 3 おすすめの本を読みの視点をもとにまとめる。	○読みの3つの視点を確認させる。どのように変わったのか。 ○家庭学習をもとに、太一の気持ちが大きく変わったのはなぜか交流させる。 「太一はなぜ瀬の主にもりをうたなかったのか」という発問についてペアで考えさせる。 ※ペアでは、家庭学習をもとに太一の変容について理由を出し合うようにし、友だちと話したことでの新たな気づきはメモをとって全体で提起したり、共有したりできるようにさせる。(二人で悩んでいること、二人で納得したこと等) ☆視点をもとに太一の心情をつかみ、登場人物の相互関係と関連させて自分のことばでまとめている。 (発言、行動観察、ノート) ○本時に学習した視点(③なぜ変わったのか)についてまとめさせる。
4 次時の学習について知る。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> 家庭学習 「海のいのち」が最も強く自分に語りかけてきたことをまとめ、なぜそう考えたのか根拠も入れて書いてくる。 </div>	○「人物の生き方新聞」にまとめるために、物語が最も自分に強く語りかけてきたことについてまとめることを伝える。

8 本時の学習（7／10）

(1) 目標 人物の生き方新聞にまとめるために、登場人物の行動や会話などの叙述に着目し、太一の心情を想像して読むことができる。

(2) 展開

主な学習活動と内容	指導上の留意点 (○) 評価 (☆) 支援 (※)
<p>1 本時の課題をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> 人物の生き方新聞にまとめるために </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> 「海のいのち」が最も強く語りかけてきたことについて考えよう。 </div>	<p>○単元のゴールイメージを共有し、本時へ向けて目的意識を持たせる。 ○前時の学習を振り返り、良かったことを評価して意欲を持たせる。</p>
<p>2 課題を解決する。</p> <p>(1) 物語が強く語りかけてきたことに対して、考えを交流し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペア ・個人（ノートに書く） ・全体 <p>3 おすすめの本が最も強く語りかけてきたことについて構成メモにまとめる。</p>	<p>○「一言で言うと～ということだと思ふ。それはね（理由）…」と話型を示すことで、単に読み上げるだけの交流ではなく、家庭学習をもとに自分の言葉で話せるようにする。→青鉛筆の約束（3つ） ○友だちと話したことをもとに「一言で言うと…」とまとめさせる。</p> <p>○理由の中にあがってきた会話文と行動を表す表現に着目させて、児童の意見を取りあげ聞き合いながら全体で交流ができるようにする。</p> <p>○本時での学習を生かして、構成メモにまとめることができるように机間指導で助言したり、評価したりする。</p> <p>☆人物の行動や会話などの叙述から心情を考え、それを根拠として物語が最も強く語りかけてきたことをまとめている。 (発言・話し合い・ノート)</p>
<p>4 次時の学習について知る。</p> <div style="border: 2px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>家庭学習 今日の学習を思い出し、ノートに、「海のいのち」をおすすめする文章をまとめてくる。</p> </div>	<p>○次時は、おすすめの本の推薦文を書くことを知らせる。</p>

8 本時の学習（8／10）

(1) 目標 「人物の生き方新聞」を書くために「海のいのち」や選んだ本の文章を読み、作品について自分の考えを持ちながら表現方法を考えることができる。

(2) 展開

主な学習活動と内容	指導上の留意点 (○) 評価 (☆) 支援 (※)
<p>1 本時の課題をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">物語と対話しながら推薦文を書こう。</div>	<p>○単元のゴールイメージを共有し、本時へ向けて目的意識を持たせる。</p>
<p>2 課題を解決する。</p> <p>(1) 推薦することと紹介することの違いを確認する。</p> <p>(2) 「海のいのち」についておすすめする理由を交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対話する時に意識してほしいこと ・ノート交かん <p>(3) 「海のいのち」の推薦文を交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体 <p>3 おすすめの本の推薦文を書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人学び ・ペア 	<p>○数ある本の中から比べて「これ」という理由をはっきりさせることが推薦であることを意識させる。</p> <p>○目的意識（その物語を読む楽しさ（共感したからすすめたいのか、自分とは逆の考えだからすすめたいのか）や、表現方法意識（相手に分かりやすい文章を考える）を明確にさせる。</p> <p>○2つのことを意識しながら友だちのノートに赤い線を引くことを確認する。</p> <p>○本時の学習を振り返らせ、目的や表現方法を意識させながらおすすめの本の推薦文を書く。</p> <p>○ペアで読み合い、アドバイスをし合う。</p> <p>○時間の終わりに、数人の子どもに書き上がった推薦文を読ませ、評価する。</p> <p>☆物語を推薦するために、作品について自分の考えを持ちながら表現することができる。 (発言・話し合い・ワークシート)</p>
<p>4 次時の学習について知る。</p> <div style="border: 3px double black; padding: 10px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>家庭学習 構成メモを見直し、「人物の生き方新聞」を書くことに向けて加筆し、構成メモを完成させてくる。</p> </div>	<p>○次時は構成メモをもとに「人物の生き方新聞」を書くことを伝える。</p>

8 本時の学習（9／10）

(1) 目標 構成メモをもとに、おすすめの本について相互関係や心情、優れた描写から自分が考えたことを「人物の生き方新聞」にまとめることができる。

(2) 展開

主な学習活動と内容	指導上の留意点 (○) 評価 (☆) 支援 (※)
<p>1 本時の課題をつかむ。</p> <p>心に響いたことを交流するために</p> <p>構成メモをもとに「人物の生き方新聞」にまとめよう。</p>	<p>○単元のゴールイメージを共有し、本時へ向けて目的意識を持たせる。</p>
<p>2 課題を解決する。</p> <p>(1) 新聞の書き方について確認する。</p> <p>(2) 「人物の生き方新聞」を書く。</p> <p>3 学習を振り返る。</p>	<p>○席の移動をさせる。</p> <p>○人物関係図、大見出しを必ず入れることを確認させる。</p> <p>○構成を考えながら、視点を明確にさせて書くようにする。</p> <p>※構成や書き方が良くできている児童を評価し、迷っている児童が参考にできるように支援する。</p> <p>☆登場人物の相互関係や、心情、場面についての描写を捉え、優れた叙述について自分の考えをまとめている。 (発言、行動観察、ノート)</p> <p>○今日の活動はどうだったのか口頭で発表させる。</p>
<p>4 次時の学習について知る。</p> <p>家庭学習 友だちにおすすめするために、人物の生き方新聞を推薦する言葉を考えて練習してくる。</p>	<p>○次時は人物の生き方新聞で交流することを伝える。</p>

8 本時の学習（10／10）

(1) 目標 「人物の生き方新聞」を交流し合い、自分の考えを広げたり、深めたりしながら読むことができる。

(2) 展開

主な学習活動と内容	指導上の留意点 (○) 評価 (☆) 支援 (※)
<p>1 本時の課題をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> 人物の生き方新聞でお気に入りの本をおすすめしよう。 </div>	<p>○これまでの学習と出来上がった人物の生き方新聞から、本時への意欲を持たせる。</p>
<p>2 課題を解決する。</p> <p>(1) 交流の視点を確認する。</p> <p>(2) 班の中で交流する。</p> <p>3 学習を振り返る。</p>	<p>○席の移動をさせる。</p> <p>○人物関係図、大見出しを必ず入れることを確認させる。</p> <p>○構成を考えながら、視点を明確にさせて書くようにする。 ※構成や書き方が良くできている児童を評価し、迷っている児童が参考にできるように支援する。</p> <p>☆登場人物の相互関係や、心情、場面についての描写を捉え、優れた叙述について自分の考えをまとめている。 (発言、行動観察、ノート)</p> <p>○今日の活動はどうだったのか口頭で発表させる。</p>
<p>4 次時の学習について知る。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>家庭学習 友だちにおすすめするために、人物の生き方新聞を推薦する言葉を考えて練習してくる。</p> </div>	<p>○次時は人物の生き方新聞で交流することを伝える。</p>

8 本時の学習（11／10）

(1) 目標 「人物の生き方新聞」を交流し合い、自分の考えを広げたり、深めたりしながら読むことができる。

(2) 展開

主な学習活動と内容	指導上の留意点 (○) 評価 (☆) 支援 (※)
<p>1 本時の課題をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> 人物の生き方新聞でお気に入りの本をおすすめしよう。 </div>	<p>○これまでの学習と家庭学習で仕上げてきた「人物の生き方新聞」から本時への意欲を持たせる。</p>
<p>2 課題を解決する。</p> <p>(1) 交流の見通しを持つ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・必ず推薦の言葉を添えてお勧めする。 ・班の友達の新聞を読んで付箋を付ける。 <p>(2) 全体で交流する。</p> <p>(3) 今日の活動について振り返る。</p>	<p>○班での交流の仕方を説明する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2つのことを確認する。 <p>○付箋を持たせ、クラス内の友達の新聞を自由に読みに行くことを指示する。最後に心に響いた新聞を尋ねることを伝え、意識して読んでいくように伝えておく。</p> <p>※前時に確認した4つの約束の中でどのことがよく伝わるようにかけているのか助言しながら机間指導をする。</p> <p>○各班の代表者にそれぞれ、心に残った新聞について話をさせる。</p> <p>☆友達の「人物の生き方新聞」を読み、内容や書き方の良さについて考えを広げたり、深めたりしながら交流することができている。 (発言・行動観察)</p>
<p>3 次時の学習について知る。</p> <div style="border: 3px double black; padding: 10px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>家庭学習</p> <p>友だちの「人物の生き方新聞」で、読んでみたくなった本を読み、その本について国語ノート1ページに自分なりの読みをまとめてくる。</p> </div>	<p>○今回つけた力の上に更に積み重ねていくことを確認しあう。</p>